

平成 26 年度

平塚市高齢者よろず相談センターひらつかにし

<平塚市地域包括支援センターひらつかにし>

<かながわライフサポート事業>

<地域包括支援センター事業>

- 地域ケア会議の推進については、9か所の地域サロンにおいて定期的に小地域ケア会議を開催し、小地域の課題把握や支え合いの体制づくりを進めた。また地区単位での地域ケア会議を重ね、地域組織(自治会、民児協、地区社協、長寿会)のほか、介護事業所、医療機関等とも連携のネットワークの構築を進めている。
また、居宅ケアマネがサロンや地域ケア会議に参加し、個別課題を地域役員と共有したり、解決策を検討したりするなど、個別ケースを地域の住民として捉えた支援を進めている。
- 介護予防ケアマネジメント事業については、予防給付の定型業務は滞りなく実施できており、件数については年間通して増加傾向にある。
- 総合相談・支援事業については、迅速でスムーズな相談対応ができていますが、相談内容では虐待やDV、経済的困窮など支援困難で解決に時間がかかる事例が引き続き増えている。
- 権利擁護事業については、成年後見制度を必要とする相談ケースに対し、制度説明と助言を行っている。
- 認知症への対応としては、認知症サポーター養成講座を4回開催し、計176人のサポーターを養成できた。

<かながわライフサポート事業>

- H26年度は相談が1件あったが、利用にはつながらなかった。
- 今後、事業のPRを進め、経済的困窮のニーズに貢献していきたい。

平塚市高齢者よろず相談センターひらつかにし
(地域包括支援センター)

(平成26年度実績)

1. 介護予防ケアマネジメント事業		
	実施計画	実施報告
①二次予防事業対象者把握・ケアマネジメント	<p>(1) 教室修了者や教室に参加できない方に対して、地域のサロン等を周知し参加を促し、フォローをしていく。</p> <p>(2) 地域サロン(ふれあいサロン、吉沢福祉村ゆめ広場)にて、介護予防体操の実施や認知症予防、健康に関する講話などを実施する。(サロンの計画→4-③参照)</p> <p>(3) 要支援・要介護に認定された方については、予防給付サービスへつなぐ等の必要な支援・手続きを行う。</p>	<p>(1) ふれあいサロンを紹介し、参加につながっている。(人数不明)</p> <p>(2) 76回ふれあいサロンにて実施、吉沢ゆめ広場にて3回実施した。</p> <p>(3) 2名対応した。</p>
②介護予防ケアプラン作成・モニタリング・評価	<p>(1) 予防ケアプラン作成において具体的な目標設定に努め、介護予防と自立支援に向けたケアマネジメントを行う。</p> <p>(2) 暫定でサービス利用が必要な場合には、居宅ケアマネ等と連携し、スムーズな支援に努める。</p> <p>(3) 個別相談の中で、福祉用具、住宅改修の必要性のある方に対して、随時情報提供と申請手続きを行う。</p>	<p>(1) 月平均122件(うち委託46件)のケアプラン作成を行った。プラン作成において具体的でわかりやすい目標設定に努めた。</p> <p>(2) 暫定サービスにおける居宅ケアマネとの連携はできた。</p> <p>(3) 随時情報提供や申請手続きを行った。</p>

2. 総合相談・支援事業		
	実施計画	実施報告
①総合相談支援	<p>(1) 地域住民による相談センターの周知を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館(3ヵ所)へのパンフレット配布依頼。 ・長寿会の定例会などへ出向き、包括の説明、PRをする。 <p>(2) 民生委員や地域サロン、福祉村と連携し、相談への早期対応に努める。</p> <p>(3) 夜間休日の対応・・・併設施設の日直・宿直担当にて受けた電話相談に対して、緊急でなければ翌営業日の対応、緊急の場合は管理者の携帯電話に連絡が入り、必要に応じて対応する。</p>	<p>(1) 地域サロンにおいて地域役員や参加者に包括の周知をした。</p> <p>(2) 民生委員、地域サロン役員と連携し、迅速に相談対応している。</p> <p>(3) 土曜日は以前から当番職員が1名出勤し対応している。日曜・祝日・夜間は施設の日直・宿直担当にて対応し、緊急相談は包括管理者に連絡が入る方法をとっている。</p>
②支援におけるネットワークの構築・活用	<p>(1) 個別ケースの支援において積極的に関係機関(行政、介護事業所、医療機関、地域組織等)と連携していくことで、ネットワークの強化を図っていく。</p> <p>(2) ふれあいサロン運営委員との地域ケア会議を開催し、地域の課題を把握し、また顔と顔の見える関係づくりを進め、地域包括支援ネットワークの構築を図る。</p>	<p>(1)(2)ふれあいサロンをベースにして地域ケア会議を開催し、地域組織(自治会、民児協、地区社協、長寿会)のほか、介護事業所、医療機関等とも連携のネットワークを構築しつつある。</p> <p>居宅ケアマネがサロンや地域ケア会議に参加し、個別課題を地域役員と共有したり、解決策を検討したりするなど、個別ケースを地域の住民として捉えた支援を進めている。</p>

③地域の高齢者実態把握	<p>(1) 高齢者調査の戸別訪問を進め、民生委員との情報交換も積極的に行ない、実態把握を進めていく。</p> <p>(2) ふれあいサロン運営委員との地域ケア会議を開催し、地域の高齢者の状況を把握する。</p> <p>(3) 長寿会の定例会、懇親会等に伺い、交流を図っていくことで、地域高齢者の情報を得る。</p> <p>(4) 個別ケースの支援の検討を通じた地域ケア個別会議を開催し、高齢者の実態把握を進める。</p>	<p>(1) 3名体制で訪問実施し、必要に応じて担当民生委員に連絡したり、要介護認定や地域サロン参加につなげている。</p> <p>(2) サロン終了後にほぼ毎回地域ケア会議を開催した。(年間68回実施)</p> <p>(3) 長寿会定例会(2回)の他、サロンの地域ケア会議に長寿会会長が参加され地域の情報交換を行った。</p> <p>(4) 地域ケア個別会議を年間5回開催した。</p>
④センター職員のスキルアップ	<p>(1) 包括内でケースについての情報共有と支援方針の統一化を図る。また、制度の情報等についても共有を図る。</p> <p>(2) 内外の研修に積極的に参加し、必要な知識や技能を身につける。</p> <p><外部研修></p> <ul style="list-style-type: none"> ・包括初任者研修(社会福祉士) ・包括現任者研修(介護支援専門員) ・介護予防研修(保健師) ・権利擁護関連研修(社会福祉士) ・精神疾患ケースへの対応技能研修(保健師) ・認知症サポーターメイト研修(介護支援専門員) <p><内部研修></p> <ul style="list-style-type: none"> ・救命救急法講習(全職種) ・福祉用具の知識に関する勉強会(全職種) 	<p>(1) 毎朝のミーティングや月1回のケース検討会(包括内)にて情報共有と支援方針統一を図った。</p> <p>(2) <外部研修>の受講実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーターメイト研修(1人) ・包括初任者研修(2人) ・在宅医療人材育成セミナー(1人) ・ファシリテーター研修(1人) ・コミュニティソーシャルワーカー養成研修(1人) <p><内部研修>の受講実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・包括居宅合同事例検討会(6人) ・定期巡回随時対応型サービスを理解する勉強会(5人) ・接遇研修(2人)
⑤多様化する相談内容に対応できる体制づくり	<p>(1) 対応困難ケース等の情報を包括内で共有し検討を重ねていくことで、対応方法のノウハウを蓄積していく。</p> <p>(2) 精神分科会等の関係機関との交流会にしたり、個別ケースの支援において関係機関と連携していくことで、顔の見える関係を築いていく。</p>	<p>(1) 月1回の包括内でケース検討会を行った。</p> <p>(2) 精神科病院(富士見台HP)のMSW、NSとの情報交換会開催や地域サロンでの交流を通じて連携できる関係づくりを進めている。</p>

3. 権利擁護事業		
	実施計画	実施報告
①日常生活支援事業・成年後見制度の活用促進	<p>(1) 認知症サポーター養成講座(一般市民向け)や地域ケア会議、ふれあいサロンの場を活用して、事業や制度の紹介をしていく。</p>	<p>(1) 個別支援を通じて、また地域ケア会議等の中で紹介している。</p>
②地域ケア会議や認知症サポーター養成、地区サロン等開催時に高齢者虐待防止の普及・啓発を実施する。	<p>(1) 地域ケア会議、認知症サポーター養成講座(一般向け)、ふれあいサロン等の場を活用して、事例の紹介などを通して普及・啓発を図る。</p>	<p>(1) 地域ケア会議にて、虐待事例の紹介を通して普及・啓発を実施した。</p>

③高齢者虐待・困難事例への対応	<p>(1) 民生委員や居宅ケアマネからの相談に迅速に対応し、必要に応じて関係機関（行政、介護事業所、医療機関、地域組織等）とのカンファレンスを行い、チームでの解決を図ること、また地域ケア会議の開催で支援体制の構築も図る。</p> <p>(2) 夜間休日の対応・・・併設施設の日直・宿直担当にて受けた電話相談に対して、緊急でなければ翌営業日の対応、緊急の場合は管理者の携帯電話に連絡が入り、必要に応じて対応する。</p>	<p>(1) 民生委員、居宅ケアマネからの相談には迅速に対応している。年間対応件数6件。</p> <p>(2) 夜間・休日の緊急相談はなかった。</p>
④消費者被害への対応	<p>(1) 居宅ケアマネや民生委員との連携で、被害の早期発見に努める。また、必要に応じて消費生活センター、警察等と連携を図る。</p> <p>(2) 市内の被害情報を包括内や他包括と情報共有し被害拡大を防止する。</p> <p>(3) 地域への予防対策として、地域ケア会議、ふれあいサロン等にてチラシ配布や勉強会など啓発活動をしていく。</p>	<p>(1) 消費者被害の相談はなかった。</p> <p>(2) 包括内、他包括とも情報共有は随時行って情報共有した。</p> <p>(3) 地域サロンや地域ケア会議にて地域内での被害情報の周知し注意喚起を行った。</p>
⑤権利擁護に関する普及・啓発の研修会や相談会、講演会等を企画し、実施する。	<p>(1) 認知症サポーター養成講座において、権利擁護の普及啓発を図る。</p>	<p>(1) 認知症サポーター養成講座において、認知症高齢者の権利擁護の普及啓発を行っている。</p>

4. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業		
	実施計画	実施報告
①包括的・継続的なケア体制の構築	<p>(1) 入退院の支援等、個別ケースの対応の中で、医療機関との顔の見える連携体制を構築していく。</p> <p>(2) ふれあいサロン、地域ケア会議に参加していただき、医療・介護関係者と地域との顔の見える関係づくりを進める。</p> <p>(3) 定期巡回随時対応型サービスの介護医療連携推進会議や老健の運営推進会議に出席する。</p> <p>①定期巡回随時対応型サービス SMCケアステーションひらつか</p> <p>②老健フィオーレ湘南真田</p>	<p>(1) 個別ケースの対応を通じて、総合病院やクリニックとの顔の見える関係を築いている。</p> <p>(2) 地域サロンや地域ケア会議に医療機関（富士見台HP、済生会平塚HP）や地域密着型サービス（グループホームエレクト、小規模多機能そよかぜ）、老健フィオーレ、西部福祉会館からの参加あり、関係づくりを進めている。（年間26回）</p> <p>(3) 定期巡回SMC（2回）、老健フィオーレ（2回）</p>
②介護支援専門員に対する相談支援・指導	<p>(1) 支援困難ケースを抱えている居宅ケアマネに対し、同行訪問やカンファレンス、地域ケア個別会議の開催等により必要な支援を行なっていく。</p> <p>(2) 居宅ケアマネ向けに研修会、勉強会を開催する。</p>	<p>(1) 居宅ケアマネへの支援は年間136回実施した。</p> <p>(2) 居宅ケアマネと地域役員、包括の交流会を1回開催。ケアマネが地域サロンや地域ケア会議に参加しやすい環境作りを進めた。</p>

<p>③地域ケア会議等を通じて包括的ネットワークづくりに取り組む。</p>	<p>(1) ふれあいサロンの開催 ・ふれあいサロンの会場を2カ所増設し9か所で開催していく。 ・サロン運営に地区社協の他、民生委員、自治会、長寿会も加わって頂き、各サロンの役員や周知の役割を担っていただく。 ・サロンを地域互助の拠点ととらえ、支え合いの関係づくり、地域ケア個別会議の開催への活用、地域福祉の啓蒙普及、介護予防、閉じこもり予防などにつなげていく。 ・地域課題の把握につなげ、社会資源の発掘や普及につなげていく。</p> <p>①土沢サロン(土屋会場) ②土沢サロン(吉沢会場) ③金目サロン ④かわまえサロン ⑤真田サロン ⑥ウッドパークサロン ⑦北金目サロン ⑧片岡サロン ⑨広川サロン</p>	<p>(1)9会場にて計画通り実施した(年間76回)。地域役員が主体的にサロン運営に携わっていただいた。またサロンを拠点として地域内の人と人、組織と組織が交流しつながら動きも生まれている。 サロン終了後にほぼ毎回地域ケア会議も行い、地域課題や個別課題の共有、検討を行っている。</p>
<p>④日常圏域ケア会議、小地域ケア会議を開催する。</p>	<p>(1) 金目地区では、金目地区サロン運営会議を小地域ケア会議として位置づけ開催していく。 (2)土沢地区では、小地域ケア会議開催に向け、ふれあいサロンの活用や福祉村との連携を図っていく。 (3)日常圏域ケア会議については、民児協会長、地区社協会長、自治連会長等と検討しながら会議の内容、構成団体を模索していく。</p>	<p>(1)金目地区では計画通り実施できた。 (2)土沢地区においてもサロン後の地域ケア会議の開催に少しずつ取り組めた。 (3)金目地区では地域組織の各会長とのコア会議やサロン役員とのサロン運営会議をそれぞれ年3回開催している。 土沢地区では民児協との交流会・情報交換会という形によるケア会議を開催。</p>
<p>⑤地域ケア個別会議を随時または定例で開催する。</p>	<p>(1) 各地域サロンにおいて、地域内の情報収集やニーズ把握を行い、地域ケア個別会議の開催につなげていく。 (2) 居宅介護支援専門員への個別支援の中でケア会議開催の機会をつくっていく。</p>	<p>(1)地域ケア個別会議を年間5回開催した。 (2)個別支援を通じて地域ケア会議につなげたり、ケアマネと地域役員、包括の交流会を通開催し、ケアマネが地域ケア会議に参加しやすい環境作りを進めている。</p>
<p>⑥サポート医、拠点薬局との関係づくり</p>	<p>(1) サポート医や拠点薬局と日頃から直接お会いして、顔の見える関係づくりに努める。 (2) 地域サロンでの講師等を依頼し、医師・薬剤師と地域との接点をつくっていく。</p>	<p>(1)サポート医については個別ケースの支援を通じて概ね顔も見える関係で連携が図れている。 拠点薬局については1つは以前より連携あり、もう1つは後期に訪問し関係作りを進めている。 (2)2つの薬局については、次年度に地域サロンへの協力を計画中。</p>

⑦よりそいノート を認知症サポーター養成講座やサロン等で普及する	(1) 認知症サポーター養成講座やサロン等でよりそいノートを見本を使って紹介する。	(1)認知症サポーター養成講座において紹介した。
⑧ひらつか安心 ファイルを普及する。	(1)居宅ケアマネへの個別支援の中で、該当するケースにあんしんファイル活用を勧めていく。 (2)居宅ケアマネ向け研修会等の場で、あんしんファイルの活用を呼びかける。	(1)ケアマネへの個別支援の中では対象となるケースがなかった。配布実績はゼロ。 (2)居宅ケアマネからあんしんファイルに対する意見のヒアリングを行い市へつないだ。

5. その他		
	実施計画	実施報告
①認知症サポーター養成(年間80人)を目標とする。	(1) 認知症サポーター養成講座を中学生向けに開催する。 土沢中学校(30名) 金目中学校(100名) (2) 市の計画に沿って一般市民向け講座を開催する。(20名×2回) (3) ふれあいサロンや地域ケア会議等の中で開催ニーズがあれば、必要に応じて開催する。	(1)計画通り2つの中学校において開催した。土沢中(3年生36名と民生委員12名)、金目中(3年生77名)。両校とも今年で5回目となる。 (2)一般市民向けに2回開催した。(合計51名)
②地域での活動を視野に入れた交流会(年間15人)を開催する。	(1)ふれあいサロン運営の活動の中でサポーター同士が交流しながら地域活動をしていけるよう支援する。	(1)ふれあいサロン役員にサポーターが多数おり、日頃のサロン活動を通して交流や情報交換をし、認知症高齢者を支える地域活動につながっている。 交流会としては前期に1回開催し参加者10人であった。
③地域密着型サービス運営推進会議等への出席	(1)ご利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるために、地域密着型の事業所が地域の一員として意識し、地域と交流を深められるような方向へ支援をしていく。 ①小規模多機能型施設そよかぜ ②グループホームエレクト	(1)①小規模多機能よそかぜの会議に5回出席。②グループホームエレクトの会議に4回出席。 グループホームエレクトについては、入所者とスタッフが地域サロンに参加したり、地域サロンの役員がエレクトの行事に参加したり、双方向の交流の機会が増えている。
④市の在宅高齢者福祉サービスの活用	(1) 個別相談の中で、必要性のある方に対して、随時情報提供と申請手続きを行う。 (2) ふれあいサロン、民児協、地区社協、長寿会の定例会などにおいて、市の在宅高齢者福祉サービスの紹介・説明を行い、普及を図る。	(1)個別相談の中で随時、説明や申請手続きを行なった。(年間68件) (2)会議の場等での紹介は行えなかった。

平塚市高齢者よろず相談センター
(地域包括支援センター事業)

(H26年度実績)

1. 総合相談件数(相談者実数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度
新規実数	8	5	3	10	8	5	2	4	9	6	9	11	80	129
継続実数	42	20	18	18	11	6	12	9	6	11	7	2	162	188
計	50	25	21	28	19	11	14	13	15	17	16	13	242	317

2. 総合相談内容別延べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度
介護保険その他	63	54	63	47	71	39	19	32	31	48	24	43	534	461
保健福祉サービス	16	15	11	9	5	11	0	3	6	2	3	1	82	132
権利擁護	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	11
高齢者虐待	1	0	0	1	0	2	3	1	10	19	3	3	43	103
保健・医療	8	0	0	1	0	0	1	0	2	0	1	0	13	11
高齢者調査	0	4	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	8	-
認知症(疑い)	0	0	0	1	3	4	9	3	8	2	6	6	42	-
経済苦(生活苦)	0	0	3	1	5	2	6	1	3	0	3	0	24	-
精神疾患(疑い)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	-
その他	9	10	8	13	9	2	7	6	19	8	4	7	102	-
計	97	87	86	76	94	61	45	46	79	80	44	60	855	718

3. 各種申請の内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度
介護保険関係申請	15	9	8	14	10	10	14	19	8	13	12	17	149	153
在宅高齢福祉サービス	9	5	4	8	3	2	9	6	4	10	2	6	68	72
計	24	14	12	22	13	12	23	25	12	23	14	23	217	225

4. 新予防給付(国保請求ベース)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度
プラン作成件数	70	65	60	63	63	66	67	68	69	69	70	70	800	858
プラン委託件数	42	42	46	48	47	48	49	45	50	47	45	49	558	452
計	112	107	106	111	110	114	116	113	119	116	115	119	1,358	1,310
担当者会議開催数	7	11	14	8	5	8	14	9	17	8	7	3	111	110

5. 二次予防事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度
二次予防対象者数	0	0	0	260	124	1	2	14	5	2	0	0	408	542
プラン作成件数	2	2	0	2	5	2	0	0	0	0	0	0	13	12

6. 居宅介護支援専門員への支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度
支援困難事例を抱える介護支援専門員への対応	6	15	16	4	12	11	14	2	3	5	13	8	109	48
個別事例に対するサービス担当者会議開催支援	0	8	0	4	0	0	2	3	0	2	2	0	21	25
質の向上のための研修	0	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	5	3
ケアプラン作成指導等	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
計	6	23	17	9	12	12	17	5	5	7	15	8	136	79

7. 地域包括支援の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度
ふれあいサロン開催	7	6	7	5	7	6	7	6	7	5	7	6	76	60
地域ケア会議開催	5	9	6	5	6	7	8	7	5	5	7	6	76	62
地域組織への支援	2	0	1	1	1	2	1	0	1	0	0	0	9	7
或密着型施設運営推進会	0	1	2	1	1	1	0	2	2	1	0	1	12	12

8. その他の主な活動状況

<p>認知症サポーター養成講座</p>	<p>7月23日 一般市民向け(参加者22名)。土屋公民館にて。 3月2日 土沢中学校3年生向け(中学生36名+民生委員等12名=48名) 3月6日 金目中学校3年生向け(77名) 3月5日 一般市民向け(参加者32名)老健フィオーレ湘南真田にて。</p>
<p>民児協と包括の情報交換会</p>	<p>9月24日 土沢地区民協と包括の情報交換会。吉沢公民館にて。</p>
<p>居宅ケアマネ支援研修会</p>	<p>6月20日「地域ケア会議」をテーマに講義とグループワーク。保健センターにて。</p>
<p>居宅ケアマネと包括の交流会</p>	<p>7月30日 地域サロン、地域ケア会議について。居宅13事業所23名参加。西部福社会館にて。 12月8日 居宅ケアマネと地域サロン役員との交流。居宅ケアマネ28名、地域サロン役員20名。西部福社会館にて。</p>
<p>金目・豊田地区のサロン運営者の交流会</p>	<p>7月10日 2つの地区のサロン運営者の情報交換会。保健センターにて。参加者:金目地区21名、豊田地区24名、市社協2、市1、包括にし6、包括とよだ4。</p>
<p>富士見台病院と包括の情報交換会</p>	<p>6月26日 包括が富士見台HPデイケア見学・MSWと情報交換。 8月7日 富士見台MSW、ほっとステーションが包括に来所し情報交換会。 11月21日 地域サロンを通じた連携について打ち合わせ。</p>

H26年度 職員研修実績(施設内・施設外)

地域包括支援センターひらつかにし

部門	月/日	研修名	研修内容	実施機関	受講者(職種:人数)
包括	7月9日	認知症キャラバンメイト養成研修会	認知症キャラバンメイトの養成	認知症キャラバンメイト連絡協議会	介護支援専門員:1名
包括	7月30日	H26年度ケアマネジャーと包括ひらつかにしの交流会	包括と居宅ケアマネとの交流会:包括より地域ケア、地域サロンの取り組みの発表と意見交換	高齢者よろず相談センターひらつかにし	介護支援専門員:4名 社会福祉士:2名
包括	8月22日	包括職員初任者研修	地域包括業務の知識習得と技術向上を目的とした初任者向け養成研修	神奈川県介護支援専門員協会	介護支援専門員:2名
包括	9月1日	事例検討会(居宅包括合同勉強会)	居宅と包括、各1事例提出、お互いの事例について理解、情報を出し合う	ローズヒルケアセンター(施設内)	介護支援専門員:4名 社会福祉士:2名
包括	10月4日	在宅医療人材育成セミナー	在宅医療・介護に携わる多職種の連携を図る	平塚市 介護保険課・高齢福祉課	介護支援専門員:1名
包括	10月27日	定期巡回・随時対応型訪問介護看護について	新規サービスについて理解を深める	ローズヒルケアセンター(施設内)	介護支援専門員:3名 社会福祉士:2名
包括	10月28日	接遇研修(1)	対人援助の基本である接遇について、学びコミュニケーションスキル向上を図る	ローズヒル(施設内)	介護支援専門員:1名
包括	11月6日	介護支援専門員研修のファシリテーター研修会	ケアマネ研修におけるファシリテーターに必要な知識技術を習得する	神奈川県介護支援専門員協会	介護支援専門員:1名
包括	11月7日	接遇研修(2)	対人援助の基本である接遇について、学びコミュニケーションスキル向上を図る	ローズヒル(施設内)	社会福祉士:1名
包括	11月7日 11月11日 11月15日	コミュニティソーシャルワーカー養成研修	かながわワイフサポート事業のCSWとして必要な知識・技術を習得する	神奈川県社会福祉協議会	介護支援専門員:1名
包括	11月20日	第3回アドヒアランスを考える会「維持期を考えた薬物療法について」「より良い長期予後を目指す統合失調症治療」	統合失調症治療についての知識・情報を学ぶ	富士見台病院	社会福祉士:1名 介護支援専門員:1名 看護師:1名
包括	12月8日	H26年度第2回ケアマネジャーと包括の交流会	ケアマネ、包括、地域サロン役員と交流会、情報交換会を通して、お互いの活動を知り顔の見える関係を作る	平塚市高齢者よろず相談センターひらつかにし	介護支援専門員:4名 社会福祉士:2名 看護師:1名
包括	1月20日	第1回 虐待防止の関係機関管理者・中堅実務者向け研修会	虐待防止ネットワーク協議会の構成機関、所属職員、家族、市民が幅広く虐待について理解を深め、地域全体での虐待防止に向けた取組体制を確保、向上することを目的とする。	平塚市 障がい福祉課・高齢福祉課	介護支援専門員:1名
包括	2月9日 2月10日	地域ケア会議推進に係る実務者研修	地域ケア会議を効果的に運営・コーディネートすることができる人材育成	厚生労働省老健局(委託先:日本能率協会総研)	介護支援専門員:1名
包括	2月9日	第2回 高齢者虐待防止関係職員研修会	擁護者による虐待対応のために必要な精神保健の知識を習得し、高齢者虐待防止対策の推進に失することを目的とする。	平塚保健福祉事務所	介護支援専門員:1名 社会福祉士:1名